

【課題及び取組の概要・コンセプト】 農業における労働力不足に対応するため、令和元年度から県内J Aは無料職業紹介事業に取り組み、J A栃木中央会は県域でのWEBを活用した求人情報の発信を始めた。その取り組みを強化するとともに、外国人技能実習制度にも取り組み農業生産の維持・拡大を図る。

事業実施主体構成員

J A栃木中央会、プラスアグリ協同組合

実績値(目標値)

- ①無料職業紹介事業の求職者を増加させる(目標値:750件)こと、および成約率を上昇させる(目標値:35%)ことにより採用件数を増加させる(目標値:年間200件):**求職者1,087件、成約率29.2%、採用件数317件(いずれも令和2年12月末現在)**
- ②求職者の労働環境への満足度(目標値:労働環境に満足している労働者の割合80%以上):**調査未実施**

令和2年度取組み内容

ア 労働力の需給状況の把握

2019年までに調査済み。都市近郊地域においても、中山間地域においても2割～3割の農家が雇用を必要としている。また、外国人技能実習生についても施設園芸農家のうち約4割の農家が活用を検討している。

イ 労働力の確保・育成

2019年7月に開設した県域での求人サイト通じ、広く求職者を募っている。求職者の確保のため、WEB広告や新聞折り込みチラシを活用し求人情報を周知している。

ウ 労働力等のマッチング及びデータベース化

農業に対する理解促進のため、農業未経験者向けの動画を作成し求人サイト上で公開している。また、2020年度には無料職業紹介事業を実施するJ Aが2J A増え、県内全10J Aで無料職業紹介事業を実施している。

エ 農業の「働き方改革」への取組み

雇用についての課題を把握するため、求職者に対してアンケートを実施する予定。外国人技能実習制度の適正運用のため、現地調査により優良な送出機関を選定する予定だったが実施できていない。

オ 他産地・他産業との連携による労働力確保

J A全農とちぎ、農協観光等と農福連携や人財バンクの取り組みについて情報共有している。

## 課題と令和3年度の実施内容

ア 労働力の需給状況の把握	
【課題】 特になし（実施済みのため）	【次年度の実施内容】 特になし（実施済みのため）
イ 労働力の確保・育成	
【課題】 求職者の確保のため継続的な取り組みが必要。	【次年度の実施内容】 求職者の確保のため、WEB広告や新聞折り込みチラシを活用し求人情報を広く周知する。
ウ 労働力等のマッチング及びデータベース化	
【課題】 求職者の農業に対する理解促進のため継続的な取り組みが必要。	【次年度の実施内容】 求職者の農業に対する理解促進のため、農業未経験者向けの動画等を作成し求人サイト上で公開する。
エ 農業の「働き方改革」への取り組み	
【課題】 求職者に対するアンケートが未実施となっている。	【次年度の実施内容】 求職者へのアンケートを実施し課題を把握するとともに、求人を出すうえでの留意事項や雇用するうえでの注意点、雇用トラブルへの対応策などについてのマニュアルを作成する。
オ 他産地・他産業との連携による労働力確保	
【課題】 特になし	【次年度の実施内容】 JA全農とちぎ、農協観光等と引き続き情報共有を図るとともに、具体的な取り組みについて協力する。